

北見武道通信

令和7年9月25日 00762号

編集者:佐藤寿春

北見市幸町8丁目4-4(佐藤整骨院内)

NPO 法人北見市武道振興協会事務局発行

直通:090-5986-0839

代表:0157-22-2212 Fax:0157-23-0581

URL <http://www.kitamibudokan.org/>

satou.toshiharu@navy.plala.or.jp

ニュースレター【事務局情報】 北見地区秋季弓道講習会の開催！ 令和7年9月13日(土)9時～16時 北見市武道館(「道場2」「弓道場」)で北見地区弓道連盟主催(高山節子会長)による「令和

7年度北見地区秋季弓道講習会」が開催されました。弓道の基本姿勢・基本動作から入退場の歩き方や射技研修など弓道の所作を学ぶ講習会が行われ高校・大学・一般合わせ150名が受講しました。講師を担当した教士六段今野正毅氏は「毎年この時期に講習会を開催していますが、今年度は

管内高校の弓道部数が大幅に増えたことから、特に高校1年生の女子生徒が54名受講し、受講生の3割以上を占めたことが特徴です。ここオホーツク圏は高校弓道のレベルが高く、各高校顧問の先生方の充実した指導が功を成して、全道または全国大会に出場する部員が多くなってきています。私たち指導者は、このような限られた講習会においてしっかり基本を指導し、伝統文化の継承と昇段の一助となるべく献身的に指導していきます。」と話をしてくれました。(佐藤)

公の施設指定管理者選定決定

公の施設「北見市武道館」5年間(令和8年4月1日～令和13年3月31日)の指定管理者に「特定非営利活動法人北見市武道振興協会」が和7年9月16日付で選定通知が郵送されてきました。なお、指定管理者の指定については北見市議会の議決を経て正式決定となります。(佐藤)

連載「武道宝鑑」第2弾 磯貝 一 <柔道指導の心得> 三、修行途上の障害について

これは誰しも修行中経験することと思うが、進歩は必ずしも同じ速度で行くものではない。ある時期には吾ながら不思議と思うほど進歩を見ることがあるが、ある場合には、丸でこの反対で、己の身体は死物同様、如何に努力してもあせっても、少しも思うように働くことが出来なくなることがある。それは多く、一つの階段からさらに上の階段に上る時の現象で、例えば、技だけに満足出来なくなり、精神的面を重んじて来るような時などの如き、技の精神方面を重んじる餘り、技の実際とその精神との調和がとれず、今まで利いた技も利かなくなる事がある。これは修行と上の重大な一時期で、かかる時、修行によっては、『この頃俺は何だか丸で体も出ないし體も利かなくなった。いくら稽古しても不思議に体が動かず、自分の思うような技が出ない』と悲観してしまい、甚しきに至っては『逆も俺はこれ以上進歩はしないのだ』と思って稽古に熱がなくなり、稽古を怠けるようにさへなって来る。が、これはだれにもある現象で、かかる場合若し指導者がそれに留意しないで指導よろしきを得なかつたら、その修行者は、最早それ以上の進歩はなくて遂には修行を止めてしまわぬとも限らない。即ち指導者は、かかる時、早くもこの現象と原因を知って、この障害を切り開くべく、共に研究して、之を励ますなり、或はまた修行者自身その境地を抜け出るように適當の方法を以て指導することを忘れてはならない。

つづく